

平成24年度の研究推進計画

- 1 研究主題 互いに認め合い、ともに高め合おうとする児童の育成
～規範意識を育てる道徳の授業づくり～

2 主題設定の理由

学習指導要領改訂を受け、道徳教育では以下のような改善の基本的観点が示された。

- ・ 社会に貢献できる豊かな心を育成する。
- ・ 学校の集団生活の場としての機能を十分に生かし、道徳教育の一層の充実を図る。
- ・ 法やルールの意義やそれらを遵守し、適切に行動できる人間を育てる。

どの観点にも、いわゆる「規範性」に通ずるところがある。広島市21世紀教育改革総合プラン検討会議では、規範性を以下のように定義している。

人と人、人と自然が明るく共生するために必要な善悪の判断ができる力、及び、悪いことを抑止し、善いことを実践することができるたくましい自律心。

本校の児童は、道徳的な価値について頭ではわかっているものの、抑止力・実践力を身に付けているとは言い難い状況にある。とくに、きまりの尊重、ルールや公德心、公正・公平、集団生活の向上、役割・責任といった内容項目が弱いというのが現状である。自尊感情や他者理解の心が十分育っていないため、人間関係を形成することが難しい児童もいる。

本校では昨年度まで「自ら考え、伝え合おうとする児童の育成～自分の思いを表現する力の育成～」を研究主題とし、自分と相手の思いを交流することで、思考力・判断力・表現力を高めようと取り組んできた。その結果、相手を意識したり、考えを伝える喜びを感じたりすることができるなどの成果を得ることができた。

培ってきたスキルを道徳の時間などの話し合いに生かし、互いに認め合う学級づくりにつなげていくことが本年度のねらいである。また、道徳の時間だけでなく、学校教育活動全体を通じて自主的に道徳的価値に気付かせるような指導法の工夫が必要と考え、本主題を設定した。

3 研究の方向性

- ・ 学校教育活動全体を通じて行う道徳教育推進計画の作成
- ・ 道徳教育の要としての道徳の時間の工夫・改善
- ・ 協同学習を取り入れた授業づくり
- ・ 言語活動の充実

4 研修計画

- ① 帯時間（らっこタイム）基礎学力
- ② 授業づくり
- ③ 道徳年間指導計画

研究授業（道徳）

	下学年（1・2・3年）	上学年（4・5・6年）
校 内	1年2組（綾田先生）	6年1組（吉松先生）
公開研究会（中学校区）	2年1組（野崎先生）	4年1組（尾尻先生）
公開研究会（市内）		5年1組（大町先生）

年間計画

4月	研修会（12日）今年度の研修について 全国学力学習状況調査（17日） CRT学力検査（算数）（26日） 研修会（26日）指導第2課指導主事招聘 藤井智子指導主事
5月	CRT分析 全国学力学習状況調査分析
6月	基礎基本定着状況調査（12日） 研修会（26日）講師招聘 広島大学大学院教育学研究科 15:00～16:30 鈴木由美子教授
7月	校内研究授業① 6年（10日） CRT結果渡し（20日と23日）
8月	基礎基本定着状況調査分析 地域公開研究会，パワーアップ研修会の指導案作成検討
9月	全クラス道徳参観授業，懇談会（11日） 1～5年 基礎・基本定着状況調査を踏まえての学年の取組の報告 6年 全国学力・学習状況調査を踏まえての学年の取組の報告
10月	
11月	校内研究授業② 1年（20日）
12月	地域公開研究会（2・4）年（6日） 授業（道徳）14:00～14:45 協議会 15:00～16:30 パワーアップ研修会（5）年（18日） 授業（道徳） 協議会
1月	
2月	成果と課題のまとめ（28日）
3月	次年度研究の方向性